

## Dr 卒後2年目

歯科は抜歯の時代、修復の時代を経て、現在は予防の時代にいる事は、我々若い歯科医師にとっては突拍子な事ではありません。

しかし、その予防が EBD に基づき、リスクを個別化し予測した上での予防でなければならないという事が重要であり、予防が成功している症例が医院の一部の症例、偶然の産物では意味が無いと痛感しました。

そして、EBD に基づく医療とは、Meta analysis や Systematic Review などのエビデンスの高い論文を読み、確固たる自信を持ち、治療を実践し、提供した医療を検証する結果、患者の口腔健康の維持という、最高の価値ある物を生み出す。Dentist から Oral physician の道へ歩むべく、世界基準に目を向けていかなければならないと胸に刻む事ができました。

現状の日本はアメリカ、スウェーデンの歯科先進国とはかけはなているが、それに甘んじていては、日本の歯科は変革しない、変革を信じて行動する事により未来の日本の歯科において、インプラント治療よりも大きなインパクトをおこすだろうと思います。その変革に挑む多々の Dr の話しを聞いて本当に良かったです。

## Dr 5年目

2日間の研修を終えて感じたことは、今まで自分が行ってきたことは何だったのだろうということが率直な感想でした。日頃は治療を必要としてやって来た患者さんの処置を行い、また問題が起きたらそれに対処していくの毎日であった。

そのような治療中心の歯科医療を行っていた私にとっては熊谷先生がみつめていらっしゃるのとは病気ではなく“健康”であるという言葉聞いて衝撃を受けた。患者さんはそもそも良ければ治療など受けたくなどないのだ。日吉歯科が提唱するMTMやEBMに基づく歯科医療、衛生士によるリスクに応じた定期的なメンテナンスを持ってすれば口腔の健康を維持していくことが出来る。“歯科医療の価値=患者さんの健康”当たり前のようで、今まで気が付くことが出来なかったことに、今回気が付かせていただくことが出来た事が私にとってセミナーを受けて得た一番の収穫であります。また何事にもぶれない信念を持って臨んでいくことの大切さも学ぶことが出来ました。

## Dr 卒後2年

熊谷先生の話聞き、何を真の目標とするか、ぶれない軸をもつ。患者さんを尊敬する。歯科医療に対する責任と誇りを持つ。一生自分の歯で食事し、おしゃべりし、微笑むことができる人生のために、そのための周辺事項は変わっても、変わらない本質があることを教えられました。

また、若手の先生の話聞き、本物の医療を提供しているところは、論文を読み、エビデンスを常に確認し、世界を見ており、世界水準で考えている歯科医院であるのだと感じた。日吉歯科の先生方に熊谷先生の多くの情熱が伝わっており、若手の先生もそれぞれが研鑽を積んでいる。日吉歯科で得たことをそれぞれの診療所で実践して、地域で活躍している励みとなりました。是非今度はOPセミナーに参加して、自分が開業する時に地域に貢献していけるように思いました。貴重な機会をありがとうございました。

#### Dr 卒後4年目

初めてこのようなセミナーに参加し、今までとは全く違う考えばかりで面白かったです。メンテナンスの重要性や、歯牙保存の価値や興味を患者や地域の人人々に教育したり浸透させる事は非常に困難だと想いますが、皆さんが新年と時間をかけて取り組まれている話しを聞けて、また、保健医療とのやり取りや、診療システム等を効けて大変勉強になりました。ありがとうございました。

#### Dr 卒後5年

今回は本当に素晴らしい先生方のお話と昼食まで無料で用意して頂きありがとうございました。自分は卒業して5年が終わろうとしています、臨床経験を積みば積むほど自分は患者さんの歯を守る事ができているのだろうか？と不安が募ってくるように感じます。削って詰める、抜いてブリッジにするということを当たり前のようにしていますが、それが数年後ダメになって再補綴が必要になってくる。これが本当に患者さんのためになっているのだろうか？と感じるようになってきました。リスクアセスメントをきちんと行い、メンテナンスを徹底し少しでも治療介入を減らすことで、将来患者さんの歯を守ることができ、経済的に自分も患者さんも幸せになれる。そんな歯科医療の実現が達成できればいいなあと心から思えるようになりました。今はまだ一勤務医の自分ですが将来ブレない自分の信念をもって理想とする歯科院を作りたいと思いました。

自分の仕事に対する考えを変える大変いいセミナーになりました。本当にありがとうございました。

#### Dr 卒後4年目

歯周病もう蝕もバイオフィルムの除去、リスク改善すれば本来はまれな疾患であるという言葉は衝撃でした。

私は開業医に勤めて4年目になります。メンテナンスに来られてる患者さんは4割です。

現在来られている患者さんはパノラマ、P 検の評価のみです。今回熊谷崇先生の話を聞いて今までの人にはもちろんせつかく来られてる方にわかりやすくデータを確実に提示できるようにしたいと思いました。将来関わっていく自覚が足りないのだと反省しました。また大学の同期の海野先生のどうやって治療するか？ではなく健康な子供たちをどうやって育てていくか？を考えて U20 はメンテナンスを行っているという話しも印象的でした。考えているつもりでも全然できていなかったなという反省と歯科医師としての今後について考えさせられます。

小口先生のまた診てもらいたいと思ってもらえるように行った日々の積み重ね、これを心に一本でも歯を残すではなく、全てを健康に残せるように明日から頑張ります。本当に2日間参加できて幸せでした。ありがとうございました。

#### Dr 3年目

二日間に渡り有意義な講義を受けることができ、感謝しております。

メディカルトリートメントモデルを取り入れる事により患者さんの歯の健康を守る事が歯科医師としての大切な意義であると感じました。

日本の歯科医療のシステムがこういった事を実践していくことを??としているが日々自分のできることをやっていきたいと思いました。

#### Dr 卒後6年

大変面白く聞かせていただきました。特に論文検索などの勉強の仕方や開業の話などきけたことはすごくよかったです。

#### Dr 卒後3年目

専門医についてわからないことが多かったが、今回のセミナーで専門医の役割が理解できた。エビデンスに基づく医療を行うために学ぶ意欲と患者を尊厳する気持ちを忘れずに診療を行っていきたい。

#### Dr 卒後5年目

この度は大変お忙しい中、時間と労力を割いた素晴らしいセミナーに参加させて頂き誠にありがとうございました。この場をお借りして、熊谷先生、スタッフの皆様に感謝を申し上げます。

私は口腔外科の病院で勤務し5年目の歯科医師です。

今回は、当病院全体での口腔ケアの意識が高まり自分自身も口腔衛生管理が大事だと感じており、どのように管理すればいいのかを勉強したく受講させて頂きました。日々の治療は骨折、外傷、炎症、腫瘍、智歯抜歯をメインに行っており、他科の手術前後での歯科治

療と口腔ケアに取り組んでおります。心臓血管外科からの紹介率は100%で、その他の科からも、紹介が日々増加傾向を辿っています。また、ビスホスホネート系薬剤性関連顎骨壊死を20人近く当科では抱えており、最近ではデスノマブでも顎骨壊死を引き起こす症例を経験致しました。特に顎骨壊死に関しては口腔衛生管理が良ければ、大多数を防ぐことが出来るのではないかと考えております。

一見、口腔外科と予防歯科とはかけ離れたような分野に思われがちですが、様々なところで繋がっていることをセミナーを通して再確認致しました。

今後の治療、連携した考え方に生かしていきたいと思っております。

セミナーや勉強会には再度参加させて頂きたいと思っておりますので、その節には何卒宜しく御願い申し上げます。

#### Dr 卒後5年目

日吉歯科の話が度々でてきており、実際に目で見てみたいと思いセミナーに申し込みましたが、半年以上先の日程になってしまいました。

ただ、この半年以上の期間を経たことで、予防をしっかりとしていくことと、現状の保険清制度のかみ合わなさを経験することができたのでその時すぐに受講するよりも理解できたように思います。

リスクアセスメント、リスクコントロールの重要性というものがわかってはいるができていないところがありましたが、それではしっかりした予防はできないことを痛感しました。自分がその価値を理解し、あなたの健康を守るためには絶対必要だということを伝えられる歯科医院を作っていきたいと思えました。ありがとうございました。

#### Dr 卒後2年目

今回二日間にわたり、熊谷先生始め諸先生方に熱意と誠意のこもった講演をしていただき大変感銘を受けました。

私は現在大学で三日、自費でメンテナンスを行っているクリニックで一日お世話になっており、幸い歯科医療を軽視したような保険制度の荒波にもまれずに仕事をする事ができています。純粹に患者さんの健康に貢献するための努力ができる環境に身をおけることに幸せを感じる一方、経済的にも歯科医師としての仕事を成立させるためには保険診療に適応するために限られた時間とコストで帳尻を合わせるためのテクニックをいずれは身につけなければならないという危機感もどこかで感じていました。

しかし、今回理想を語るだけでなく、実践し、成功をおさめている先生方の実際の姿をみる事ができ、今後の自分の歯科医師としての人生に希望を見出す

ことができました。そして今後はその希望を覚悟に変えて歯科医療に携わろうと思います。

Dr 卒後2年目

2日間のセミナーお疲れさまでした。大変有意義なお話を多くの先生方から伺うことができ勉強になることの多い2日間でした。

熊谷先生のお話の中で、イノベーションが起こる際には破壊する側とされる側に分かれるが、しっかり見極めて、する側に回りなさい、というお言葉が非常に印象的でした。大学院に在籍する身としては、自分の自由になる部分は少なく、歯科界の現在の大きな流れは見えていないと感じました。また、治療部門、専門部門、U20部門にしっかりと分かれて診療している体制や、診療室の広さ、ユニットの配置など、学ぶ点の多い2日間でした。卒後2年目でこのようなセミナーに出席して熊谷先生のお話を聞くことができ、非常に幸運なことだと思います。また、このような機会を設けていただけて有難かったです。2日間ありがとうございました。

Dr 卒後4年

とても貴重なセミナーを開催していただき、ありがとうございました。委員見学から最後まで衝撃だらけでした。患者さんのために「よりよい医療を提供する」ことの大切さや「早期介入」など、なんとなくは意識していたのですが、日々目の前の治療に精一杯になりがちだったので真剣に考えることはありませんでした。ですがこれからは、今の職場の環境やスタッフの意識を見直して患者さんの口腔内のみならず全身的にも健康になっていただくことを目標として取り組んでいきたいと思います。そのために勉強や自分に出来る事を探し、努力し続けていきます。

Dr 卒後年数記載なし

現在、私は大学病院内で院内他科と連携をとり周術期口腔機能管理を行っています。

当科受診される患者の多くはかかりつけ歯科がなく、継続した治療を受けられていない状態です。また、それらの患者を受け入れる歯科医院が少ないです。今回のセミナーを受講させて頂き、かかりつけ歯科の重要性を再認識致しました。奈良県内でかかりつけ歯科を持つ患者が増える様、患者教育を行い、またGPと連携をとりたいと思います。

今回は誠にありがとうございました。

Dr. 卒5年

今回は、このようなセミナーを開催していただき、ありがとうございました。

今まで、日々の仕事の中で、どうやって今ある疾患を治すかという事を1番に考えていましたが、いかに疾患を作らない事が大切かという事に、少しだけ気付かされました。

特に、患者さんが何を望んでいるか、歯を削って欲しい人はいないという言葉は、目からウロコの気分でした。

卒後5年が経ち、以前よりモチベーションが下がっていると感じていましたが

歯科界の明るい話も聞けて、もう1度モチベーションを高める事が出来たと思います。

Dr 卒後5年目

貴重なセミナーありがとうございました。

現在、自分の勤める医院においてもMTM導入をすすめていこうということを再認識できました。

最初は、大変だとは思いますが、いつか患者にとって、大きな利益のある医院になっていければと思います。

また、自ら開業した時も、MTMを必ず導入していこうと思います。

Dr 卒後2年目

今回、熊谷先生のお話をお聞きして考え方が大きく変わりました。

今まで大学で1年診療していく中で、技術もつたない中で、患者さんに最も喜ばれたのがTBIでした。

しっかりTBIを行なって、患者さんが実践すればするほど面白いぐらいに歯肉の状態が良くなって、しみる症状が消えて効果がわかってきました。ただ開業医さんでアルバイトをすると、中々補綴ができなくて、早く技術を身につけたいと前のめりになってしまっていました。

今回、熊谷先生のお話を聞いて、まずはう蝕・歯周炎にならせないようにいかにするが大切ということ、上の先生をうの身にせず、論文を読む大切さを深く認識しました。

明日からは、まずデンタルカリエスを熟読したいと思います。患者さんの写真もできるだけ撮っていきたいと思います。またMTMを実践できる診療所をぜひ関東で探していきたいです。

昨日、今日は本当にありがとうございました。

Dr 卒後5年目

私は、小児を治療していて虫歯の治療をしても次に来院されつ時にはまた新たな虫歯ができていて、それを治療していくという事のくり返しでスライドで見せていただいた水道のあふれた水をふさぐだけで蛇口をしめるという考えがありませんでした。

今回このセミナーに参加して、オーラルフィジシャンという言葉を考えさせていただいて今まで自分が治療していた何となく後ろめたさがあったものが予防という考えを持ち患者様に接していく事で、今まで以上に患者様を大切にでき、より深いコミュニケーションがとれるようになると思います。

そしてそれが、周りにも広がり自分が将来開業した時に地域に予防を広めるという目標ができました。

そして今まで歯科で勉強とは色々な勉強会に参加する事だ思っていました、エミネンスではなくこれからエビデンスに基づいた治療をしていくために明日から自分の疑問に思った事は勉強していきます。

Dr

大学卒業後、一般歯科で数年勤めていました。

診療体制から毎日のようにCR充填、補綴処置、歯肉治療などを行っていました。このままだといずれ歯が失われるな・・・これで良いの？治療していくよりまずプラークコントロールを充填的にしたら良いのにと感じてました。

この頃は保険点数を上げていくためだけの心境とは全く異なる診療体制下にあったので、日々苦痛を感じていました。

オーラルフィジシャン育成セミナーを聴講させて頂き従来の診療優先型ではなく、患者個々の口腔内に合わせた指導法(カリオグラム・唾液検査・OHIS)を取り入れ活用していく大切さを痛感しました。

これからは、オーラルフィジシャン育成セミナーでの貴重なお話を活用していくように、日々検討しながら診療に携わっていきたいと思っております。  
有難うございました。

## Dr 卒5年目

歯の価値観を高め、業界全体のイノベーションを起こしていこうという考え方、非常に素晴らしく思います。

現在、勤務中のDrがMTMを実践している（しようとしている）ところです。

今回のセミナーで学んだ事を明日の臨床から早速生かして参りたいと考えております。  
ありがとうございました。

## Dr 卒4年

### 1日目を終えて

熊谷先生のお話は、大学にはない考えで、衝撃的で、これからのDentistはこうでなくちゃ！と感動したのと同時に、少し怖くも感じました。私はこのセミナーを知らなければずっと大工で、U20に対して無茶な治療をしていただろうと。今の状態を変えたい！そう思いました。今の状況を変えるにはすごい決断と半端ない努力と勇気が私には必要だと考えています。先生の「ムリ」を超えろって言葉が心に残りました。挑戦していきたいです。

### 2日目

海野先生、佐々木先生のU20の話は納得と今自分がしている治療がいかに間違っていることを痛感しました。成人の話、専門医の話... すごく遠く感じました。私も小児専門医を目指しています。なんちゃって専門医はダメやな... そしたらどうしたらいいのか。どこで学ぶべきか？今の自分のBESTの選択は何か。今はすごい自問自答している状態になりました。

2日間ありがとうございました。



Dr 卒後3年目

今まで、勉強会というと、いかにきれいに治して咬めるようにしたかを学ぶ場だったのですが、今回熊谷先生の話聞いて、まずその根本、原因は何なのかを学び、それをKrに伝える重要性を学びました。自分の考えが麻痺していたと実感しました。CureではなくCareの重要性、常に学び続ける姿勢、学びが多くて非常に有意義な時間でした。僕は、「小さな大学病院」を開院することを目標に考えていたのですが、そのコンセプトはどんなKrが来ても1つの病院で各自が専門性を持って対応できる病院でした。しかし、今回この講習を受け、治すだけでなく根本的に発生させないことを目指す必要性を感じました。そして、経営面を考えると本当に実現できるのかと自分で疑問に思っていたのですが、実際に東北の山形という地で実践されている現実を見て、自分も頑張り次第でできるということを感じました。Krが咬む喜びを実感できる（欠損の補綴により）ところにDrが喜びを感じるのではなく、C、Pが生じない状況に喜びを感じれる病院を作らないといけないと思いました。ありがとうございました。

Dr 卒後1年目

まず、今回このような日本一のセミナーを立案し、実行し、継続して行っている熊谷先生に尊敬の意と感謝の気持ちでいっぱいです。また日吉セミナーを支えてくださっている歯科医師の先生、歯科衛生士さん、スタッフさんにも大変感謝しております。何と言ってもおどろいたのが、お昼のおすしのレベルの高さです。お昼が無料で頂ける事すらありがたいのに、今日のお昼で日吉歯科の魅力を存分に感じる事ができました。患者に対しても全力、勉強会、セミナーに関しても全力、食に関しても全力である事、さらにはその内に秘めた余裕すら感じる事ができました。今回学んだ多くの事が、これからの僕の歯科人生の考え方のベースになると思います。その中で完全に日吉歯科イズムをマネするのではなく、自分の地域性、ニーズに合った方法に咀嚼してアレンジしたいと思います。ただ、まだまだ知らない事だらけで、日吉歯科勤務1年目、2年目の先生達と、これほどまで差が生じているのかと痛感しました。また、日本と海外の差を知る事ができ、より一層勉強したいと意欲がわいてきました。ブレーキ装置を外してムリを超える 本当にありがとうございました。

#### Dr 卒後4年目

今回のセミナーに参加させて頂いて、疾病に目を向けるのではなく、健康をどう育てていくかを見ることが真の医療であるという言葉に、はっとさせられました。

私の勤務している医院では、2回がメンテナンスのスペースになっていて、定期的に衛生士、歯科医師がチェックをしているのですが、初診の患者さんも含めて、その時の現状を見ての診断、治療になってしまっていると思いました。一人一人の検査に基づいてリスクを把握し、なぜそうなったか原因を把握して除去することが、患者さんの未来のため、本来あるべき健康な姿を取り戻すことに必須であると痛感しました。

また、大学入学してから、歯科界の未来について歯科医師過剰の問題等で厳しいと言われてきましたが、熊谷先生をはじめ開業医の先生の夢のあるお話を聞くことができ、自分自身もっと努力しなければいけないと奮起させられました。貴重なお話、ありがとうございました。

#### Dr 卒後6年目

私は学生時代に九州歯科大学での熊谷先生の講演を聞いて、1年目にセミナーに参加しました。セミナーに参加してからというもの、先生のような医院を作るにはどうしたらいいかということを考え、何軒かの医院に勤務しました。なるべく歯を削らないようにして開業するにはということを考え、6年目ですが、インプラント治療、矯正治療、歯周外科まで一人でできるよう、勉強会と医院での症例によってさせていただきました。あと2年程で札幌にて医院を開業しようと考えています。

今回はPreOPでしたが、開業時には本コースを受けようと決めております。1年目に熊谷先生と出会えたことが、私の歯科医師人生を大きく変えたと思っています。暗い暗いと大学時代に歯科業界は言われ、希望無く卒業した私にとっては、今の自分はその頃には考えられませんでした。また、開業前、もしくは後の本コースにてよろしく願いいたします。

#### Dr 卒後5年目

卒後5年ですが、ドリル、フィルをずっと行ってきた5年間でした。5年間で自らのやり直し治療があったり、治療終了し、リコールへと漫然と送り出している日々は違和感を感じていました。Pre PO セミナーでリスク管理やメンテナンスの話聞き、今までの違和感の原因がわかりました。

自分の行ってきたのは「治療」だけだった。「予防」という言葉は知っていても理解できていなかった。水が出たまま床を拭いていたのだ、と。

EBDについても理解出来、明日から取り入れます。ありがとうございました。

#### Dr 卒後2年目

2日間のセミナーを受け、今までの診療では考えていなかったことがとても多く、自分の未熟さにとても恥ずかしく思います。今回、貴重な講義をしていただきました事を自分の中でしっかりと整理し、吸収していきたいと思います。本当にありがとうございました。日本の歯科医療を世界一にするため、自分も力を尽くしたいと思います。

#### Dr 卒後4年目

今までの歯科の保険制度で、もやもやしていた部分が少し消えました。今後、私も開業予定ですが、今の保険制度とうまく付き合っていながら“予防”中心の医院作りをして、患者さんの将来の口腔の健康を守っていきたくと思いました。そのためには、Drだけではできないシステムなので、Dr、DH、ASの連携をしっかりと構築していければと考えております。2日間本当に貴重な講演をありがとうございました。

#### Dr 卒後5年目

学生時代、過剰な歯科業界で生きていくのは大変で、暗い先が待っているんだと教育を受けてきて、限られた保険点数の中でそれに見合った診療時間と治療の質を考えていかなければと日々葛藤していた私にとって熊谷先生のお考えは衝撃的でした。忘れていたというか保険制度にとらわれていて本当の医療とは何かという本質を無視していたのだと気づかせていただきました。

診査・診断をきちんと行い（EBD）患者さんが健康で快適な生活を送れるような治療、サポート、メンテナンス等、プラン立案を枠にとらわれず行っていくことが大切だと分かりました。また、自分の仕事は大工ではなく設計士なのだ（太田先生のお言葉を使わせていただきました）と分かり、何だか仕事に対する意識が変わりました。

フォーカスが狭く、日々虫歯と歯周病を治す、再治療の繰り返し、、、と治療をどうやっていくかに悩んでいたところから脱却できることができました。

山形には、学生時代に車の免許を取得しに来た以来ですが、この地に来ることによって地域のために、世界の医療を見て日本の医療の標準を考えている先生方がこんなにたくさんいらっしゃる事、その先生方の考えに触れることができたことが本当に嬉しく、仕事に対するパワーをいただきました。患者さんのために何が一番かを考え、行動できるように、また仕事を人生を楽しくできるように、勉強したことを日々の勉強に生かしていきたいと思います。楽しい時間を本当にありがとうございました。

#### 歯学部2年生

今回、このセミナーに参加してみて歯科医師に対する見方が変わりました。日本国内で歯科医師の立場は医師に比べて低いという認識を持っていました。しかし今回でその認識は180度変わりました。患者の歯を一生守るという目標を持てたのでこれからはその目標を軸に診療を行っていきたいです。

自分の親も歯科医師で東京で開業しています。将来は親にもオーラルフィジシャンやEBMを中心とした診療を行うように説得します。親の歯科医院を継いだ時には日吉歯科に匹敵するくらいの歯科医療を患者に提供していきたいと思っております。

今はまだ大学2年生なので専門的な授業をまだ受けていないのでセミナーで言われた事をすべて理解できた訳ではないので大学を卒業して専門的な知識を身につけてからまたまたこのセミナーに参加して、歯科医療に対してさらなる理解を深めていきたいです。

#### 歯学部4年生

熊谷先生、日吉歯科診療所のスタッフの皆様また、講演の為に遠方からいらして頂いた先生方、2日間ありがとうございました。

私は卒業してから、悪くなった、又は、問題を起こした患者さんの口腔内をいかに治していくかを学んでいました。今回の講義で、問題を起こす前に予防する、また、それを維持安定させるという考え方、方法に触れる事ができ大変勉強になりました。しかし、日々の臨床において問題を起こす前の口腔にたいしてしっかりと向き合った事はありませんでしたが、記録を取り、その経過を追う事がどれほど大切かと言う事と同時に、今後引き起こされるであろう問題を予測する事の難しさを感じました。今まで考慮した事が無い分、どう学ぶべきかが、イメージしづらいですが、貴院の診療スタイルを参考に、臨床に応用していきたいと思います。貴重な体験をさせて頂き重ね重ねありがとうございました。

#### 歯学部3年生

今回のセミナーの参加機会を頂いたことに、深く感謝している。私は現在、学生として歯学部に通っている。大学卒業後、国内外の企業で歯学とは無縁の人生を歩んできた。きっかけは、2011年に熊谷先生にお会いするご縁を得たことにある。この日を境に製品やサービスが持つ「価値」について一層深く考えるようになった。「生涯健康な歯を維持したいか。」もしくは「一生自分の歯で食べたいか」と問えば、殆どの人はYesと答えるであろう。一方で、そのために何が必要であるかを知り、実践している人は、少なくとも私の周りに殆どいない。一方、熊谷先生をはじめ、講師の先生方の患者は、口腔の健康に対する明確な価値観を有し、明確な目的と期待をもって通院されている。このように医療者-患者間に

目標が共有されており、互いに WIN-WIN の関係を築くための関係が構築されていることに感銘を覚える。セミナーを通じ、このような関係が「メンテナンスを行うこと」という単純なものに立脚しているわけでは決してないことが深く理解できた。エビデンスレベルの高い EBO に基づいた選択、メンテナンスを軸に、治療を要する患者には各分野の専門医が治療を担う、プロフェッショナルによる連携体制、患者への啓発のプロセス、その他諸々を妥協なく追及することなしにしては、確信を持って医療を実践することの喜びや、患者からの理解、高い評価は真の意味で得られることはないと感じた。また学びの楽しさを一層掻き立てられるセミナーであった。

#### 歯学部 4 年生

日吉歯科診療所の取り組み内容に特殊性は全くなく、むしろ王道であると考えられる。一生健康の歯のままでいたいという顧客の強く潜在的なニーズを満たすために、予防の観点から支援するという考え方も非常に勉強になったが、私は膨大な過去の顧客データを学術的手法を用いて無機的なものから有機的なものに変化させ、それに、EBM に基づいた知見を付加させる事で、質の高い医療を提供している点に深い感銘を覚えた。よく考えみたら、教科書でも学ぶ当たり前の事であるが、例えば、データを精査せず、経験論や実績を一番の根拠としたり、インパクトファクターの低い情報や、有名な先生の意見を重宝する風潮は依然として残っている。言わば一般的に当たり前の事を当たり前に実践しているところは少なく、当たり前の事を当たり前にこなす日吉歯科の存在は際立っている。しかし、歯科業界全体で考えた時、この状態は危惧すべきことであり、理念、理想はさておき、日吉歯科の取り組みは、どの歯科医院においても応用は可能であると思う。まだ日本の歯科業界の改善の余地はあると実感した。

#### 歯学部 5 年生

自分自身の歯科医師としての進路を考えたとき、自分は卒業後の明確なビジョンがなく、今現在大学で学んでいる事の延長のような感覚でやっていけばいいというような、とても視野の狭いイメージしかありませんでした。本セミナーを受講するにあたり、現在の歯科医療の問題点や、世界の歯科医療などに少し触れ、現状の歯科がほぼ後進的なものであることを知りました。常々大学では治療とは何かを教えられます。それが出来ないのでは歯科医師ではないということはもちろんですが、口腔の健康を守るという観点からは少し次元の違うものだと本セミナーで再確認しました。今現在臨床実習において、この患者さんのこの薬のために一生懸命 Cr をつくるという動きが多々あります。ですが、それを使う患者さんの行動変容を果たさなければ、蛇口から出る水を拭くことにしかならないのだと痛感いたします。

生涯一本も自分の歯を失う事なく健康に暮らしたい、またその助けになりたいと歯科医師を目指した自分にとって、日吉歯科診療所での実績はとても勇気をも与えます。ですがその反面、不安もあります。開業したとして、うまく患者さんの求めに答えることが出来、やっけていくことが出来ると実感できるまで時間がかかるとお話がありましたが、それを信じて待っている間、本当に自分は辛抱できるのか。正しいことが本当に展開できているのか、その指標はあるのかなど。またそれに平行して、努力を惜しまず勉強していくだけの気持ちを保っていけるのか、これらの不安に負けないよう日吉歯科の掲げる「酒田を世界一に・・・」のような明確で大きな目標を持って、歯科医師をやりたいと思いました。

#### 歯学部 4 年生

Oral physician 育成セミナーでは全体を通して一定の Evidence を有した論文を基に講義が展開されており、再現性が高く緻密な方法論に裏打ちされた予防歯科を学ぶ機会を得た。そして、特に 2 日目では既存の情報を盲信する Eminence ではなく Evidence level の高い文献を用いた情報の良否を判断・考察するといった EBM を実践する方法論を幾つかの症例を基に御教授頂いた。

また、実際の臨床における医療連携について、一般医と専門医との相違点や連携方法、今後の展望を米国と日本を比較して学ぶことが出来た。

在学中から、大学の講義とは異なる角度で横断的に歯科医学や歯科医療の在り方を学び、考える機会を得た今回のセミナーは、私の将来の歯科医師像を形成する上でとても有意義な 2 日間となった。

臨床実習を経験した後、歯科医師として実際に臨床を経験した後、再び OralPhysician 育成セミナーを受講し知識を深めて行きたい。

#### 歯学部 2 年生

今回このセミナーに参加してみて歯科医師に対する見方が変わりました。

日本国内で歯科医師の立場は医師に比べて低いという認識を持っていました。しかし、今回でその認識は 180 度変わりました。患者の歯を一生守るという目標を持てたので、これからはこの目標を軸に診療を行っていきたいです。自分の親も歯科医師で東京で開業しています。将来は親にもオーラルフィジシャンや EBM を中心とした診療を行うように説得します。親の歯科医院を継いだ時には、日吉歯科に匹敵するくらいの歯科医療を患者に提供していきたいと思っております。今はまだ大学 2 年生なので専門的な授業をまだ受けていないので、セミナーで言われた事を全て理解できた訳ではないので、大学を卒業して専門的な知識を身につけてから、またこのセミナーに参加して、歯科医療に対するさらなる理解を深めていきたいです。

衛生士 卒後？年目

メンテナンスがどうして必要なのか、普通のメンテナンスではなくて最後に行き着くところがメンテナンスで、そこにいくまでどう過ごしていくかという過程が大事であること、どうすればそのメンテナンスにいけるのかが多くの濃い症例を見ることで、納得できた。患者さんの行動変容が大事でそれが継続できるメンテナンスになるのだと思った。